

# 令和 8 年 6 月 記者会見

## 質疑応答の概要

### 令和 8 年第 2 回 富谷市議会定例会提出議案

#### ① 令和 8 年度 6 月 補正予算の概要

Q.

第 2 子以降の保育料無償化対応について、これまで年齢や所得の制限があったものを撤廃するという認識でよろしいでしょうか。

A. 子育て支援課長

その通りです。

Q.

これまではどういった制限があったのか教えてください。

A. 子育て支援課長

これまでは、多子カウントの年齢制限と所得制限がございました。多子カウントの年齢制限につきましては、保育所等を同時利用している未就学児を第 1 子としてカウントし、第 2 子は半額、第 3 子は無償としていることから、軽減の対象外となっている多子世帯が一定数生じている状況でした。所得制限につきましては、市民税非課税世帯等（1～3 階層）は無料、または所得やきょうだいの年齢などにより軽減措置を図っています。

Q.

現行の制度はいつからあったのでしょうか。

A. 子育て支援課長

こちらは国の制度でございまして、平成 27 年 4 月 1 日から行われておりました。また、令和元年度から、3～5 歳について無償化されています。

Q.

想定対象者数 321 名というのは、無償化される子どもの数でしょうか。

A. 子育て支援課長

その通りです。

Q.

県内の市町村で、この第 2 子以降の保育料完全無償化を行っているのは何自治体あるか、教えてください。

**A.子育て支援課長**

県の調査によりますと、県内の市において、本市同様に第2子以降の保育料無償化に対応している自治体は、令和8年度の調査で3市となっております。また、仙台市が9月からの無償化を公表しているところです。

**Q.**

令和8年度の調査というのは、令和8年4月1日現在ということでしょうか。

**A.子育て支援課長**

県の調査は年始ということでしたので、令和8年1月現在になるかと思えます。令和8年度の調査を年始にされているということでした。

**Q.**

県内の市において、令和8年1月現在で、すでに3市が第2子以降の保育料無償化を行っているということですが、どちらの自治体か教えてください。

**A.子育て支援課長**

岩沼市、栗原市、気仙沼市です。

**Q.**

第2子以降の保育料無償化対応について、8月からということですが、この時期になった理由は何かありますか。

**A.市長**

今年度、小学校の給食費を国でいくらか負担していただけることになったことで財源が確保できた部分もあり、年度内のなるべく早い段階で実施できればということで、これまで準備を進めてまいりました。そして、ちょうど準備が整ったところで、今回、議会に補正予算を上程させていただき、8月1日から実施という形となりました。

**Q.**

キャッシュレス対応レジ導入及び運用事業について、出張所は何か所ありますか。

**A.市民課長**

本市の出張所は5カ所です。

**Q.**

キャッシュレス対応レジ導入が8台というのは、出張所5カ所に1台ずつと3台を本庁の市民課に置くということでしょうか。

## A.市民課長

---

出張所に各1台ずつ、本庁においては市民課窓口、会計課で税金等を扱う窓口、全体を集計する会計課に1台ずつ置くということでございます。